

## 平成31年4月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
4月	18日	油流出	高津地内	車両	軽油 不明	道路側溝	<p>交通事故により車両から道路上に軽油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からの軽油が、道路面及び側溝内に流出していたため、油吸着マット等で回収した。</p> <p>その後、側溝に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
4月	19日	油流出	(藤新田2丁目地内)	不明	不明 約10リットル から20リットル	道路側溝	<p>道路面に油があるとの通報により、市及び関係機関が現場を確認し、側溝際の道路面に帯状に広がる油を確認した。油の一部は、降雨の影響で道路側溝に入ったため、側溝に油吸着マットを設置し流下を防ぐと共に、路面の油の拭き取りをした。</p> <p>その後、側溝に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
4月	25日	接着剤流出	三和区法音寺地内	車両	接着剤 200リットル	道路側溝	<p>接着剤（白色の粘性のある液状接着剤）を運搬中のトラックが、右折の際にコンテナ内で容器を転倒させ流出させたとの通報があり、市及び関係機関が現場を確認した。接着剤は主に荷台と道路面に広がり、一部が側溝に入ったため吸着マットで拭き取りをした。</p> <p>5/7までに、側溝内に微量に残った接着剤を除去し、下流への流出等がないことを確認したため本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成31年4月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
4月	28日	油流出	下吉野地内	車両	軽油 推定 300 リットル	道路側溝、排水 路、旧桑曾根川	<p>交通事故により車両から軽油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からの軽油が、道路側溝から排水路を通じて旧桑曾根川へ流出していたため、油吸着マット等で回収した。</p> <p>6/6 までに、道路側溝及び排水路、旧桑曾根川に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年5月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
5月	17日	油流出	春日山3丁目地内	事業所	灯油 不明	道路側溝、農業 用排水路	<p>水路に油が流れているとの通報により、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事業所敷地内で流出した灯油が道路側溝へにじみ出ていることを確認した。土中に浸透した灯油を撤去するとともに、コンクリートにより側溝際を補修し水路への流出を防止した。</p> <p>5/20までに、道路側溝、農業用排水路に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
5月	23日	排水路の 着色	石橋2丁目地内	不明	不明 不明	排水路	<p>水路に黄緑色の水があるとの通報により、市が現場を確認した結果、水路に着色した水が溜まっていることを確認した。確認当日は水が流れておらず、発生源は特定できなかったため、周辺の事業所に注意を促した。</p> <p>5/27は着色した水は確認できず、以降も新たな着色はなかった。本件について、魚類等のへい死がみられなかった事等から、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年6月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
6月	7日	油流出	(富岡地内)	不明	不明 不明	道路側溝、農業 用排水路	<p>道路上に油膜があり、一部が側溝に流出しているとの通報により、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、油の一部が側溝及び水路を流下していたため、油吸着マットにより被害拡大を防止した。また、道路上の油については油処理剤で処理した。</p> <p>その後、道路側溝、農業用排水路に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	26日	油流出	三田新田地内	車両	不明 不明	道路側溝、農業 用排水路	<p>交通事故により車両から道路上に油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からの油及び冷却水が道路面及び側溝内に流出していたため、油吸着マット等で回収した。</p> <p>その後、道路側溝、農業用排水路に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年8月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
8月	7日	油流出	米岡地内	車両	エンジンオイル 不明	農業用排水路	<p>交通事故により車両から油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からエンジンオイルが道路面及び農業用排水路に流出していたため、油吸着マットを設置して下流への被害拡大を防止した。</p> <p>その後、農業用排水路に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
8月	23日	油流出	(南城町3丁目)	不明	不明 不明	雨水幹線排水路	<p>排水路の清掃中に油膜を発見したとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。発見地の上流には油膜はなかったため、発見地にて排水路に吸着マットを設置した。下流の排水路や関川では油膜は確認できなかった。</p> <p>その後、排水路に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	12日	油流出	(北城町1丁目地 内)	不明	不明 不明	排水路 水戸の川	<p>北城町1丁目地内の排水路に油膜があるとの通報により、関係機関が現場を確認した。その結果、排水路から水戸の川への排出口で油が確認できたため、排出口付近と水戸の川に油吸着マットを設置し、関川への排水樋管にオイルフェンスを設置した。</p> <p>後日、排水路及び水戸の川に油膜が無いことを確認の上、油吸着マット及びオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	21日	魚へい死	(仲町4丁目地 内)	不明	不明 不明	儀明川 沢山川	別途詳細を記載

## 令和元年10月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
10月	29日	灰色濁水、 魚へい死	春日山3丁目	不明	粘土及び泥 不明	農業用排水路	<p>排水路内で魚が死んでいるとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、排水路が粘土及び泥により灰色に濁っており、濁水が滞留した位置では魚がへい死していたが、その下流では、泳ぐ魚影が確認できた。このため、粘土及び泥による濁りが原因と推測し、排水路内の粘土分を撤去した。</p> <p>その後は魚のへい死が確認されていないため、本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	15日	油流出	中郷区藤沢地内	個人宅	灯油 約300リットル	流雪溝	<p>流雪溝に油が流れているとの通報を受け、関係機関が発生源を探索したところ、個人宅から灯油流出があり、原因は灯油ホームタンクから給油中の流出であった。流雪溝の油は油吸着マットで処理した。</p> <p>その後、流雪溝に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
11月	16日	油流出	(昭和町2丁目地内)	不明	不明だが灯油の可能性あり 不明	道路側溝	<p>側溝で灯油の臭いがするとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、側溝内で油膜を確認したため、油吸着マットを設置し流下を防いだ。</p> <p>その後、側溝内に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和元年12月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
12月	1日	油流出	大貫地内	個人宅	灯油 約30リットル	道路側溝	<p>灯油ホームタンクからポリタンクへ小分け中に油を流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認したところ、個人宅敷地から道路側溝への灯油の流出を確認した。被害拡大防止のため、側溝に油吸着マットを設置した。</p> <p>その後、側溝に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
12月	24日	油流出	木田新田1丁目 地内	事業所	切削油 不明	道路側溝 排水路	<p>排水路に油が流れているとの通報により、市及び関係機関が発生源を探索した。その結果、油膜の最上流部付近の事業所の敷地内側溝に油が付着しており、そこから道路側溝へ流出した可能性が高いことがうかがえた。被害拡大防止のため、道路側溝及び排水路に油吸着マットを設置した。</p> <p>その後、側溝等に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和2年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	18日	油流出	西本町2丁目地内	個人宅	灯油 約60リットル	道路側溝 天王川	<p>灯油ホームタンクからポリタンクへ小分け中に油を流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認したところ、個人宅から道路側溝への灯油の流出を確認した。油は下流の天王川へ流出したため、関川への流出を防ぐために側溝及び天王川に吸着マット等を設置した。</p> <p>1/20までに、側溝等に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
1月	23日	油流出	土橋地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝	<p>交通事故により車両から油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からエンジンオイルが道路面及び道路側溝に流出していたため、油吸着マットを設置し下流への被害拡大を防止した。</p> <p>その後、道路側溝内に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
1月	30日	油流出	黒田及び灰塚地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝 排水路	<p>交通事故により車両から油が漏れたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、エンジンオイルが道路面、道路側溝及び排水路に流出していたため、油吸着マットを設置し下流への被害拡大を防止した。</p> <p>その後、道路側溝等に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和2年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	20日	油流出	国府4丁目地内	車両(推定)	エンジンオイル (推定)、 不明	道路側溝	<p>道路路面に油があり一部が側溝に入っているとの通報を受け、市が現場を確認した。その結果、道路上で交通事故と推測される痕跡と、道路路肩に沿って広がる帯状の油膜があったため、油の流下を防ぐために側溝に吸着マットを設置するとともに、路肩の油を処理した。また、隣接する事業所駐車場内にも油膜があったため、敷地管理者に油の処理を依頼した。</p> <p>その後、道路側溝等に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
2月	25日	油流出	中通町地内	個人宅	灯油 40リットル	道路側溝 排水路	<p>個人宅から灯油を流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認したところ、個人宅から道路側溝及び排水路への灯油の流出を確認した。近接する青田川への流出を防ぐため、側溝等に油吸着マットを設置した。</p> <p>その後、道路側溝等に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
2月	28日	油流出	柿崎区法音寺地内	車両	不明 不明(少量)	米山川	<p>車両が米山川に転落したとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、車両から少量の油が流出していたため、オイルフェンスを設置し下流への被害拡大を防止した。</p> <p>その後、河川に油膜が無いことを確認の上、オイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和2年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	28日	油流出	寺町1丁目地内	事業所	重油 140リットル	側溝 儀明川 関川	<p>儀明川に油が流れているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。発生源を探索した結果、事業場内の設備の不具合により重油が漏出し、敷地内の側溝を通じて儀明川へ流出していることを確認した。油の河川への流出を防ぐために敷地内側溝に吸着マットを設置するとともに、儀明川と関川の合流点付近にオイルフェンスを設置した。</p> <p>3/2までに、事業所からの油の流出及び河川に油膜ないことを確認の上、オイルフェンス等を撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 令和2年3月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
3月	3日	油流出	中郷区藤沢地内	個人宅	灯油 推定 120 リットル	流雪溝	<p>原因者が灯油を給油中にその場を離れ、10～20分後に気が付き給油を止めたが、それまでの間にタンクから灯油が溢れ、宅地外の流雪溝に流出した。</p> <p>市は、流出地点の下流に油吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな灯油の流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>